

各地の自然災害で被災された方々、戦禍の中にある方々に、心からお見舞い申し上げます。
神様の慰めと助けがありますように、お祈りしております。

秋の催しのご案内 全て当教会にて、入場無料で開催します。お気軽にお越しください。

田中恵子トークコンサート

9/24(日) 15:00～16:30

楽しいトークを交えたピアノコンサートです。



神戸市在住。神戸山手女子高校音楽科、同短期大学、専攻科ピアノ専攻卒。音楽工房Grace[K&K]を主宰。神戸中央教会会員・同オルガニスト。関西聖書神学校器楽実習講師。更生就労支援講師。明るく楽しいキャラクターで、演奏の合間のおしゃべりにも定評がある。

世界食料デー宝塚大会

10/14(土) 14:00～15:30

ぼくらの世界 ～私から始めるアクション～



基調講演: シン・オクチョル

1966年、韓国の江原道生まれ。アジア連合神学大学、大学院卒業。2005年、韓国国際飢餓対策機構から宣教師として派遣され来日。巡回牧師として日本国際飢餓対策機構(ハンガーゼロ)大阪事務所勤務。2004年スマトラ島沖地震、2008年四川大地震、2011年東日本大震災、2022年ウクライナ難民支援、2023年トルコ地震などで緊急支援活動を行った。



現地報告: ジェローム・カセバ

2012年、国際基督教大学大学院を卒業。2013年、ハンガーゼロよりコンゴ民主共和国に派遣。パートナーNGOとして、現地法人(ハンズ・オブ・ラブコンゴ)を設立し、飢餓・貧困に苦しむ方々への支援を行っている。2019年からカレミにおいて、平和と和解のためのプロジェクトを開始した。

ミニコンサート: 村田まゆみ (トランペッター)

工藤篤子賛美コンサート

10/29(日) 15:00～16:30



工藤篤子 (地中海ソプラノ)

札幌大谷短大音楽科卒業後、同短大音楽専攻科・研究科修了。1983年、マドリッド国立高等声楽院に留学。1987年、スペイン・ヤマハコンクール一位、ONCEコンクール二位。声質は地中海ソプラノで、オラトリオのソリストとして活躍。2000年、賛美伝道団体「工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ」設立。CD7枚、著書「賛美のこころ」好評発売中。

今年も、木管楽器のような、やわらかく深みのある工藤篤子さんの賛美を、野田常喜のピアノでお楽しみください。



野田常喜 (ピアノ)

大阪音楽大学音楽学部ピアノ科卒業。京都に生まれ、演奏活動の他、レコーディング・アレンジ・作曲、音楽家のサポートにも力を注いでいる。ジャンルを超えた音楽性と心に深く語りかける瑞々しいピアノの音色には定評がある。コロナ禍で作曲したオリジナルピアノ曲をYouTubeチャンネル「名もなきピアニスト」で紹介。

宝塚栄光教会

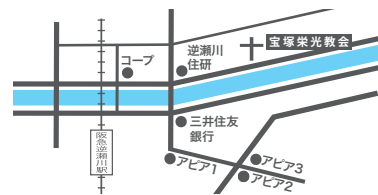
牧師: 岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com https://www.takara-eikou.com

礼拝 毎週日曜日
10:30～11:40

希望のダイヤル (聖書のお話)
0797-77-3746
毎週更新。24時間つながります。
ホームページからも利用できます。



わたしたちは旧・統一協会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。

晩夏から秋にかけて 独活の白い小花が 開いていく



慰め、励ましてくださるイエス様

イエス・キリストとは、私たちにとってどういうお方でしょうか。何よりも、イエス様は私たちの救い主です。私たちを罪から救ってくださるお方です。それだけではありません。私たちを励まし、慰めてくださるお方です。

聖書にこうあります。「私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯しませんでしたが、すべての点において、私たちと同じように試みにあわれたのです。」(ヘブル人への手紙4章15節)

私たちは、様々なトラブルにあいます。健康のこと、経済的なこと、仕事のこと、夫婦や親子・嫁姑などの人間関係…。数え上げればきりがありません。そうした問題に囲まれて、私たちは悩み、いら立ち、疲れ果ててしまいます。

しかし、私たちを慰めてくださるお方がおられます。それが、大祭司と言われているイエス・キリストです。大祭司とは、イスラエルの人が罪を犯した時、犠牲をささげて神に祈る人です。イエス様は、罪を犯して神か

ら離れてしまった私たちと、神との間に掛け橋となつてとりなす大祭司として、十字架にかかってくださったのです。

私たちが自分の罪を悔い改め、イエス様の十字架が自分のためだったと信じれば、どんな罪も赦され、私たちは救われます。そしてこの救いをいただいたなら、イエス様はいつも私たちを慰め、励ましてくださいます。

イエス様は、罪は犯されませんでした。それ以外は、ことごとく私たちと同じ弱さを持つ人間としてこの世にいられました。私たちの味わう試練を、イエス様は全部味わってくださいました。ですから、イエス様は、弱い私たちに同情してくださるのです。同情と言っても、上から目線で“かわいそうに”といたわってくださるものではありません。私たちの弱さを心から思いやってくださいます。

もし、あなたが今、出口の見えないトンネルに突っ込んでしまっておられるなら、イエス様を信じて、お頼りしてください。きっと思いがけない、明るい道が開けてくるでしょう。



「ヤマトラノオ」ー草原に自生するー

終わる気配のない夏であった

厳しい地上から離れて 高ボッチ山に登る

自然の草花は 自分の時を わきまえているかのように見えた

ヤマトラノオである

草原や森林の中で 見られる植物である

高さは 40～90cm

まっすぐな茎の先に 穂状の青紫色の花を咲かせる

多年草なので 毎年 この場所で咲く

その姿が 虎が尾をあげたようだと トラノオと言われてきた

ヤマトラノオの学名は ベロニカ

キリスト教の聖人で 聖ベロニカ 女性の名前である

日本で古くから呼ばれている 「ヤマトラノオ」という名は

日本の古い国名である「ヤマト」に ちなんでつけられたとされる

ラノオとは 古語で「花」を意味する言葉である

ヤマトラノオは 日本固有の美しい花を 象徴する名前であった

イエスは 自ら十字架を背負い

いわゆる 「されこうべの場所」

すなわち ヘブライ語でゴルゴタという所へ向かわれた

ヨハネ19章 (聖書)